



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.793 2026.7.15

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

志茂四わかば遊園を拡張

主要生活道路代替地を転用し防災機能向上へ

志茂四わかば児童遊園拡張設計について



志茂まちづくり協議会
総会資料より

6月22日に志茂ふれあい館で開かれた第48回志茂まちづくり協議会（総会）で、志茂四わかば児童遊園に隣接する敷地を活用して、公園を拡張する計画が報告されました。（のの山けん）

志茂四わかば児童遊園は、旧日本化薬社宅跡地を区が買い取り、2016年に整備した公園ですが、南側人口部分に、志茂地区の主要生活道路整備のための代替地として、約130平方メートルの敷地を確保していました。

公園の開園から10年が経過し、代替地としての需要が見込まれなくなったことから、北区が防災機能の向上や、不燃領域率の改善を図るために、児童遊園の一部として拡張するとしたものです。

今年度に設計、 来年度に工事予定

今年度は設計を行い、来年の2027年度より工事を行う予定です。

まちづくり協議会では、「当面は公園用地として活用するが、希望があれば代替地に転用できるようにしておいた方がよいのでは」との意見が出ましたが、区は、これまでの経過の中で代替地の希望はないものと判断し、児童遊園の拡張に踏み切ったと答えました。

日本共産党北区議員団ニュース

夏号ができました

区議会第2回定例会での論戦を紹介する日本共産党北区議員団ニュース夏号を発行しました。表面は190メートル・50階ツインタワーが計画されている王子まちづくりの特集です。ぜひご一読下さい。（のの山けん）



遅れる市街地再開発

赤羽一丁目「第一地区」は完了の時期が3年3か月の遅れ

7月5日付「東京新聞」は一面で「都内68地区の再開発9割で『工期遅れ』『事業費増』 工費高騰と人手不足の影響、計画見直しも」との記事を掲載、東京都内の市街地再開発事業の9割弱で工期の遅れや事業費の増額が生じていると報じました。

6月8日に放映されたNHKクローズアップ現代「『二等地』でも再開発が進まない 相次ぐ計画見直しはなぜ」では、全国で7割の再開発事業が見直しとされていますが、東京都内ではさらに行き詰まりが深刻になっています。

赤羽「第一地区」は3年3か月の遅延

赤羽一丁目「第一地区」の市街地再開発事業は、現在、事業計画の再調整と工事期間の精査を

赤羽一丁目「第一地区」計画の事業進行状況

項目	事業認可時点	2026年3月時点
権利変換計画	2025年4月	2027年4月
除去整地工事着工	2025年10月	2027年6月
施設建築物工事着工	2026年10月	2029年4月
新築工事完了	2029年6月	2032年9月

行っており、今年3月現在の事業認可時点との比較で解体工事の着工が1年8か月、建設工事着工が2年半、工事完了が3年3か月遅れる予定となっています（表参照）。
総事業費は事業認可の時点で約



第一地区再開発ビル予想図

238億円でしたが、3月時点で約285億円、うち税金投入額は事業認可時点の75億円から3月時点の88億円へと増額され、今回の見直しでさらに引きあがる可能性も出てきています。

「中央地区」は慎重な判断が必要

再開発が困難に直面し、ゼネコンも「一か八かで受注をしないと本当に首が回らなくなる」（「クローズアップ現代」と語る中、赤羽「中央地区」の計画も実現可能性を慎重に判断することが求められます。（のの山けん）

建替え工事中の志茂一丁目・北清掃工場 全覆い仮設テント撤去へ

建替え工事中の北清掃工場の全覆い仮設テント内で実施していた作業が終了し、6月29日からテントの撤去および環境対策が実施されています。すでにテントシートがはがされ、今後は大型クレーンを使ってテントフレームの解体が行われます。撤去が完了するのは、12月上旬となる予定です。（のの山けん）



撤去中の北清掃工場全覆い仮設テント